

アセスメント力向上事例検討会のご案内

なぜ今、“アセスメント力向上事例検討会“なのか・・・

相談員には、近年増加しつつある個別性の高い複雑・支援困難な事例の対応が求められています。

しかし、相談技術の習得は個々の「力量や経験に委ねられていることが多いという現状にあります。そこで、相談員が一同に会し、様々な気づきや経験を共有し、事例を深く理解し、支援策を検討する機会である事例検討会は非常に重要であると考えられます。

今年度は新たに模擬面接も取り入れ、自らの面接を振り返りながら相談面接の基本技法を学ぶことで、アセスメント力向上を目指します。

ふるってのご参加をよろしくお願いいたします。

【講師】 日本相談支援専門員協会理事 東 美奈子 氏



◇講師紹介◇

Retice. incDEO 訪問看護ステーションRelisa管理者精神科認定看護師。

山口県立衛生看護学院保健婦科卒業。総合病院・精神科病院・地域生活支援センター・相談支援事業所で勤務。“医療と地域をつなぐ”をテーマに精神科看護師や相談支援専門員等の人材育成に携わっている。著者として、「障がい者ケアマネジメントの基本」、共著として「多職種連携の技術」がある。

【日時】 10月11日（水） 13：30～16：30

【年間予定】 3月7日

【内容】 当番の事業所相談員が事例を提供し、以下のような流れで進行します。
ひとつの事例を通して前半は模擬面接、後半は事例検討を行います（参加人数によって2グループにわかれて実施します）。

- | | |
|------|---|
| 模擬面接 | ①事例提供者は事例の本人役になります |
| | ②参加者は全員相談員役となります |
| | ③相談員役は本人役と面接を通して情報収集をし、現状や背景の整理、ニーズを把握します（相談員役は順番で交代） |
| 事例検討 | ④参加者全員で夢・希望・目標・取り組むことを考えます（支援目標設定・計画策定） |
| | ⑤まとめ |

事例提出者：厚生センター、松南第一地域包括支援センター

【対象者】 相談支援専門員、介護支援専門員、包括支援センター職員等

【場所】 松江市千鳥町70番地（松江市総合福祉センター 4階 教養室）

【参加費】 無料

【申込み】 参加申込書（別紙）を10月6日（金）までに下記あてFAXもしくはメールにてお申込みください。

【問合せ】 サポートステーション絆事務局（松江市社会福祉協議会 生活支援課）担当／梶谷・花井
TEL (0852) 60-0400 FAX (0852) 21-4001 E-mail s-kizuna@web-sanin.co.jp

～前年度事例検討会アンケートより抜粋～

『何に困っていて何のサービスがよいかすぐに考えてしまうが、本人のことを考えられる相談員になりたいと思った』

『色々な角度からの見方、考え方を学ぶことができた』 『面談をするときのポイントに活かしたい』

『何歳で出会っても生育歴を聞き取り、ひも解いていくことが大切だと感じた』 『もっと情報収集が必要だと思った』

10月11日開催アセスメント事例検討会参加申込

氏 名	所 属

【平成29年10月6日（金）までにFAXもしくはmail お願いします】

【問合せ・申込先】

サポートステーション絆 事務局

松江市社会福祉協議会 生活支援課

担当 梶谷 花井

TEL (0852) 60-0400

FAX (0852) 21-4001

E-mail s-kizuna@web-sanin.co.jp